

科目名	博多学 Hakata's Culture and History	担当者	ウラベ ケンシ 占部 賢志	所属	NPEB	学年	1-4	期別	後学期	必選	選択	単位	2																																
	<p>1. 到達目標及びテーマ 最近は、再び郷土への関心が強まっている。私たちが生活の基盤とする博多は、古来から九州の中心的な役割を果たしてきた地域であり、また、東アジアに開かれた玄関口として発展を続けてきたのは周知の通りである。歴史遺産は数多く、豊かな郷土文化が今日も受け継がれている。しかし一方で、そのいわれや歴史の消息を問われた時、分かりやすく説明出来ないトイウケースもしばしば見られる。そこで当科目の目標として、意外に知られていない「博多」並びに「大宰府」に関係する史蹟や歴史事件、人物などの実像に多面的な角度からアプローチすることで、郷土への関心と基礎知識を養成する機会としたい。ひいては博多の歴史ガイドが可能な資質が身につけば何よりである。したがって、当科目は卒業後の地域社会に生きるうえでの教養科目として位置づけられる。</p> <p>2. 授業概要 当講義では、博多をベースに関係する周辺地域も視野に入れてテーマを設定する。取り扱う対象は悠久の古代から近代に至る歴史と文化とするが、出来るだけ平易に解説したい。沖ノ島は別としてほかの歴史の舞台には気軽に訪ねることが可能な場所が殆どであるから、実際に足を運んで見聞することを勧める。時間が割ければ、オプションで現地への歴史探訪も出来ればと考えている。また、受講生一人一人にテーマを設定して調査研究に当たって貰い、独自の歴史ガイドのレポート作成並びに発表会などを取り入れる予定である。</p> <p>3. 授業計画</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション ・郷土研究の意義と方法</td> <td>9</td> <td>太宰府の溜池に見る先人の知恵 ・仕掛水路とそのハイレベルの技術</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>海の正倉院「沖ノ島」 ・祭祀遺跡の文化史的意義と特色</td> <td>10</td> <td>明治維新の先駆者 ・平野國臣・月形洗蔵・野村望東尼</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>遠き日の勇者の物語 ・白村江の戦と大伴部博麻の事績</td> <td>11</td> <td>厳冬期富士山気象観測に挑む ・野中至・千代子夫妻の偉業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>福岡と対馬を結ぶ海の物語 ・玄界灘の波頭に散った荒雄</td> <td>12</td> <td>元寇記念碑の由来 ・湯地丈雄と元寇</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>大宰府の成立 ・その成立と役割</td> <td>13</td> <td>博多歴史ガイドの研究発表会(1) ・研究論文の学生発表並びに講評</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>福岡と万葉歌碑 ・歴史の息吹を読み解く</td> <td>14</td> <td>博多歴史ガイドの研究発表会(2) ・研究論文の学生発表並びに講評と総括</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>蒙古襲来と博多 ・その消息と歴史的意義</td> <td>15</td> <td>博多学の総括 ・文化エリアとしての未来構想</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>江戸時代の勤勉革命 ・宮崎安貞と『農業全書』</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 評価方法 試験は実施しない。評価の際は、関心・意欲・態度・理解・表現の5つの観点から、予習・復習の実施状況や講義中に行う確認テストなどを3割程度とし、7割程度を課題への取り組みやレポートの評価に充てる。</p> <p>5. テキスト及び参考書 主としてプリントを使用する。授業では辞書(電子辞書)を必携とする。時に視聴覚教材も利用する。参考文献などは講義中に紹介する。</p> <p>6. 事前学習・事後学習 事前にプリント資料を配付するので、予習・復習を欠かさないこと。また、参考文献を紹介するので、読んで読解力を磨く習慣を身に付けること。</p> <p>7. その他 ・当講義では、お互いに授業に臨む作法とマナーを徹底するので、その点心得ておくこと。 ・オフィスアワー：前学期(水曜日11:00~15:30) 後学期(水・木曜日11:00~16:00) ・郷土はあなたの心のふるさとです。これを機会に郷土再発見の学びを堪能して欲しい。</p>														1	オリエンテーション ・郷土研究の意義と方法	9	太宰府の溜池に見る先人の知恵 ・仕掛水路とそのハイレベルの技術	2	海の正倉院「沖ノ島」 ・祭祀遺跡の文化史的意義と特色	10	明治維新の先駆者 ・平野國臣・月形洗蔵・野村望東尼	3	遠き日の勇者の物語 ・白村江の戦と大伴部博麻の事績	11	厳冬期富士山気象観測に挑む ・野中至・千代子夫妻の偉業	4	福岡と対馬を結ぶ海の物語 ・玄界灘の波頭に散った荒雄	12	元寇記念碑の由来 ・湯地丈雄と元寇	5	大宰府の成立 ・その成立と役割	13	博多歴史ガイドの研究発表会(1) ・研究論文の学生発表並びに講評	6	福岡と万葉歌碑 ・歴史の息吹を読み解く	14	博多歴史ガイドの研究発表会(2) ・研究論文の学生発表並びに講評と総括	7	蒙古襲来と博多 ・その消息と歴史的意義	15	博多学の総括 ・文化エリアとしての未来構想	8	江戸時代の勤勉革命 ・宮崎安貞と『農業全書』	16
1	オリエンテーション ・郷土研究の意義と方法	9	太宰府の溜池に見る先人の知恵 ・仕掛水路とそのハイレベルの技術																																										
2	海の正倉院「沖ノ島」 ・祭祀遺跡の文化史的意義と特色	10	明治維新の先駆者 ・平野國臣・月形洗蔵・野村望東尼																																										
3	遠き日の勇者の物語 ・白村江の戦と大伴部博麻の事績	11	厳冬期富士山気象観測に挑む ・野中至・千代子夫妻の偉業																																										
4	福岡と対馬を結ぶ海の物語 ・玄界灘の波頭に散った荒雄	12	元寇記念碑の由来 ・湯地丈雄と元寇																																										
5	大宰府の成立 ・その成立と役割	13	博多歴史ガイドの研究発表会(1) ・研究論文の学生発表並びに講評																																										
6	福岡と万葉歌碑 ・歴史の息吹を読み解く	14	博多歴史ガイドの研究発表会(2) ・研究論文の学生発表並びに講評と総括																																										
7	蒙古襲来と博多 ・その消息と歴史的意義	15	博多学の総括 ・文化エリアとしての未来構想																																										
8	江戸時代の勤勉革命 ・宮崎安貞と『農業全書』	16																																											